

1年で最も長い2学期の終業を刻む日となりました。コロナ禍にあっても、校内で感染者が確認されることはなく、休業措置をとることもなく、着実に教育活動が実施できたことは、生徒や保護者の皆さんの協力の賜であり、教職員を代表して感謝したいと思います。また、日々の授業による学習活動はもちろん、課題研究への取組、久徴祭をはじめとする学校行事、部活動や生徒会活動など、個々の挑戦と成長を実感できる機会に恵まれました。全てに感謝、ありがとうございました。

さて、終業日の今日、皆さんと共に考えたいことがあります。それは、国や地域の宝であり、これから未来を描く皆さんが、高校時代に豊かに成長し、光り輝くために必要なことについてです。

生物学で明らかのように、モノの成長には3つの要素が関係します。「素材」、「栄養」、「環境」。これらを本校に当てはめて検証してみましょう。自分事として考えてほしいので、易しい言葉で。

まずは「素材」。良くも悪くも入学者選抜という「ふるいにかけられ」て入学した生徒達、個人的な自信の有無はともかく、素材の良さは入学段階でお墨付きをもらっています。様々な面で多様性に満ちた中学校とは一線を画し、一定のレベルを保証された、ある種の等質性をもった生徒集団が出雲高校生です。もちろん、思いや考え、得意不得意、興味関心など、一人一人に違いがあり、多様性はつきものですが、知識や思考のレベルは総じて高く、疑ってかかる必要はありません。すなわち、成長する素質は出雲高校生の誰にでもある。学校自体も、家庭も、地域も、そうした認識で皆さんを見ているし、豊かに成長してほしいと願っています。この前提を忘れないでください。

次に「栄養」。植物が水や肥料を欲するように、人の成長にも栄養素が欠かせません。高校生にとっての栄養は、何はさておき様々な領域に関わる学習でしょう。教科書を筆頭とする教材から新しい知識を取り込み定着させ、実技教科であれば鍛錬によって技能を習得し、活用できるレベルにまで高めていく。知識も技能も、思考・判断・表現の経験を数多く積むことで、確かなものとして血肉化されていく。そうした過程が栄養を取り込むということ。それは、教科学習に限らず、課題研究や各種行事、部活動等でも同様です。基本的に完成したものには栄養はさほど必要ではなく、未完成で伸びしろのある場合に、人は栄養を求め、また与える意味があると思います。「課題は伸びしろ」といいますが、未熟、未成熟であればあるほど栄養は必要で、栄養を取り込めば取り込むほど成長が促される。ここで大切なのは、栄養の質や量と入れるタイミング、そして我が身に取り込もうとする意欲や姿勢。いかに上質で適量の栄養であっても、満腹であっては身体が受け付けないし、取り込む気がなければ入っていかない。様々な要素が絡み合わないとうまくいかないのが現実で、うまく取り込めるだろうかと不安になることもあるでしょう。でも、安心してください。本校の先生方は、「教へのプロ」であり、医者や栄養士のごとく、生徒の状況を見極めて処方したり助言したりしてくれます。学校を信じて、適切なタイミングで適量の栄養を取り込み、豊かな成長に活かしてください。主体性は当然必要ですが、信じ、受け入れ、活かす姿勢も忘れないように。

そして「環境」。いかに水や肥料があっても光や適度な温度がなければ植物が育たないように、素材の置かれる環境は実に重要です。高校生にとっての必要な環境は、何より日常的に仲間や同志のいる学校であり、支援者としての教職員や保護者、そして関与して下さる地域等の方々存在だと思えます。教科書とただ向き合うだけの学習、協力者のいない一人きりでの研究や練習、笑いや雑談もない無味乾燥な日々、そんな状況で成長を想像できますか。本校では、成長を志す生徒を支援できる、ヒト（生徒・教職員）、モノ（教育設備）、コト（行事・活動）が揃っています。学校でなければできない成長も多い。その全てを存分に享受し、豊かな成長を果たしてください。

優れた素材、取り込んだ栄養、恵まれた環境、それらを今こそ振り返ってほしい人達があります。それは3年生の皆さんです。年が明けての1月15日から大学入学共通テストが行われ、多くの人にとっていよいよ正念場を迎えます。志望校合格という目標に向かって、健康管理に気をつけた上で、できる限りの準備を行ってください。そして何よりもお願いしたいのは、素材としての自分、栄養を蓄えた自分、仲間達と共にある自分を信じ、出雲高校で成長した自分を信じてほしいということ。「信じる者は救われる」、皆さんの自信を持っての受験、そしてその成功を祈っています。

生徒の皆さん、これから13日間の冬休みに入ります。主に家庭で栄養を蓄える期間、環境を大切に、これまでに取り込んだ栄養をしっかりと血肉化できるよう消化に努めて過ごしてください。

最後に、新型コロナウイルス感染症については、変異株の発生などまだまだ予断を許しません。引き続き感染症予防を徹底し、他者へ配慮し、感謝の気持ちを持って、普段通りの家庭・学校生活が続けられるように、各自が自覚をもって行動してください。1月7日に元気で会いましょう。

以上、新年明けての再会の日を心待ちにし、終業式の式辞とします。